

高校地理プリント (過去問類似)

地球的課題 No.3

名前

得点

/10

問1 国家の防衛を重視する従来の安全保障観に対し、貧困、飢餓、感染症、災害といった個々の人間を脅かす多様な脅威に着目し、人々の生存、生活、尊厳を守ることを目指す国際協力の考え方を何というか。 (2012年 全国公立入試 類似)

1. 持続可能な発展 2. 人間の安全保障 3. 民族自決の原則 4. 持続可能な開発

問2 東アジアでは、1980年代以降の急速な経済発展に伴い、エネルギー源として安価な化石燃料が大量に消費されるようになった。これにより発生した硫酸化物や窒素酸化物などの物質が、大気中の水分と反応して強い酸性を示す降水などとなって降下し、森林の枯死や湖沼の酸性化を引き起こす環境問題を何というか。 (2005年 全国公立入試 類似)

1. 塩類化 2. 砂漠化 3. 酸性雨 4. 温暖化

問3 東南アジアの熱帯雨林地域において、先進国向けの木材輸出や、パーム油の原料となるアブラヤシのプランテーション開発などを目的として急速に進行し、生物多様性の喪失や地球温暖化の促進が懸念されている環境破壊は何か。 (2008年 全国公立入試 類似)

1. 土壌汚染 2. 森林伐採 3. 大気汚染 4. 海洋汚染

問4 ヒマラヤ山脈の氷河や積雪を主な水源とし、乾燥地域を流れてアラビア海に注ぐこの河川の下流地域では、近年の気候変動に伴う氷河の急速な縮小により、一時的に融解水が増加して洪水のリスクが高まっている。しかし、将来的に氷河が消失した後は、乾季の流量が大幅に減少して深刻な水不足や農業への打撃が生じることが懸念されている。この河川の名称として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 (2021年 全国公立入試 類似)

1. インダス川 2. アムール川 3. ヨルダン川 4. ガンジス川

問5 火山地域において、噴火の際、あるいは噴火の後に、地表に堆積した火山灰や火山噴出物が、大雨や融雪などの水分を大量に含んで、斜面を急速に流れ下る現象を何というか。 (2005年 全国公立入試 類似)

1. 山体崩壊 2. 火山津波 3. 火山地震 4. 火山泥流

問6 先進国や産油国で1人当たりの排出量が多い二酸化炭素などの温室効果ガスについて、2020年以降の温室効果ガス排出削減等のための国際的な枠組みを定めた、すべての締約国に削減目標の作成・提出を義務づけている協定は何か。 (2020年 全国公立入試 類似)

1. バリ協定 2. ラムサール条約 3. パーゼル条約 4. ウィーン条約

問7 2017年末に東アジアの主要国が環境対策として資源ごみの輸入を厳しく制限した。これにより、それまで同国に輸出されていた廃プラスチックなどの多くが、代替の受け皿として東南アジアのある国へと急速に流入した。しかし、この国でも処理能力を超えたごみの流入による環境汚染が深刻化したため、のちに輸入規制が強化されることとなった。この、一時的に廃プラスチックの主要な受け皿となった東南アジアの国はどこか。 (2023年 全国公立入試 類似)

1. ミャンマー 2. マレーシア 3. フィリピン 4. カンボジア

問8 日本の河川下流域では、大雨の際に本流の水位が急激に上昇することがある。このとき、本流の水が支流へと逆流して支流周辺の低地で氾濫が発生するのを防ぐため、本流と支流の合流点に設置される治水施設を何というか。 (2023年 全国公立入試 類似)

1. 堤防 2. 水門 3. 樋門 4. 護岸

問9 1990年代初頭に西アジアで発生したある武力衝突では、クウェートの油田施設が破壊されて大量の原油が周辺の海域に流出し、深刻な海洋汚染や油井火災による大気汚染が引き起こされた。この環境破壊をもたらす契機となった、イラクによるクウェート侵攻に端を発した紛争を何というか。 (2012年 全国公立入試 類似)

1. 中東戦争 2. 中越戦争 3. 朝鮮戦争 4. 湾岸戦争

問10 山間部において、地すべりによって形成された緩斜面は、水分が豊富であることから、傾斜地に階段状に作られたある耕作地として利用されることが多い。大雨による地すべりの再発を防ぐために集水井などの排水施設が設けられることもある、この特徴的な耕作地を何というか。 (2025年 全国公立入試 類似)

1. 棚田 2. 段畑 3. 輪中 4. 塩田

答え合わせ・解説 No.3

問1	答え 2 人間の安全保障	1990年代に国連開発計画（UNDP）によって提唱された概念であり、国家の枠組みを超えて、個々の人間の生命や尊厳を脅かす多様な課題に対処することを重視する。感染症や寄生虫症の脅威から人々の生存を守るための衛生教育やワクチン接種の普及などは、この考え方に合致した具体的な国際協力の取り組みである。
問2	答え 3 酸性雨	中国などの東アジア地域では、急速な工業化に伴い、安価で豊富な石炭資源が大量に消費された。これにより発生した硫黄酸化物などの大気汚染物質は、大気中の水蒸気と反応して硫酸や硝酸となり、酸性度の高い雨や雪、霧（酸性雨）として降下する。これは自国内に深刻な健康被害をもたらすだけでなく、偏西風によって日本などの周辺国へも飛来し、森林や土壌、湖沼の生態系へ悪影響を及ぼしている。
問3	答え 2 森林伐採	東南アジアでは、商業的な木材の切り出しや、農地・プランテーションへの転換を目的とした大規模な森林伐採が行われてきた。これにより、熱帯林が急速に減少し、野生動物の生息地破壊や二酸化炭素吸収源の減少といった深刻な環境問題を引き起こしている。
問4	答え 1 インダス川	ヒマラヤ山脈を水源とするインダス川は、流域に広大な乾燥地域を抱え、河川水を利用した灌漑農業が盛んに行われている。地球温暖化の進行に伴い、水源である山岳氷河の融解が一時的に活性化するため、短期的には河川の流出量が増加し、洪水などの災害リスクが高まる。しかし、温暖化がさらに進行して氷河が消失すると、年間を通じて安定して供給されていた水源が失われるため、特に乾季における流出量が激減し、流域の農業や生活用水の確保に深刻な影響を及ぼす。
問5	答え 4 火山泥流	火山地域における災害には、噴火時に発生する溶岩流や火砕流などの直接的な現象のほか、噴火後に堆積した不安定な火山灰や火山噴出物が大雨などによって流される二次的な災害がある。この現象は火山泥流（ラハール）と呼ばれ、噴火から時間が経過した後でも発生する危険性があり、広範囲に甚大な被害をもたらすことがある。
問6	答え 1 パリ協定	地球温暖化の原因となる二酸化炭素などの温室効果ガス削減に向け、1997年の京都議定書に代わり、2015年に採択された枠組みである。京都議定書とは異なり、先進国だけでなく発展途上国を含むすべての締約国が削減目標を作成・提出し、対策をとることが義務づけられている。
問7	答え 2 マレーシア	中国は2017年末に環境保護や公衆衛生の観点から、廃プラスチックを含む資源ごみの輸入を大幅に制限した。これにより、それまで中国を最大の輸出先としていた日本や欧米諸国の廃プラスチックが、代替の受け皿として東南アジア諸国へ流出した。なかでもマレーシアへの輸出量が急増したが、同国でも不法投棄や環境汚染が社会問題化し、輸入規制が導入・強化されるに至った。
問8	答え 2 水門	河川の下流域では、本流の水位が上昇した際に支流へ水が逆流し、支流周辺で浸水被害（バックウォーター現象）が発生することがある。これを防ぐために、本流と支流の合流点には水門が設置され、本流からの逆流を遮断する。なお、ダム建設は主に上流域で行われる対策である。
問9	答え 4 湾岸戦争	1990年のイラクによるクウェート侵攻を契機として、1991年に多国籍軍とイラクとの間で勃発した。この戦闘の際、クウェートの油田施設が破壊されて大量の原油が流出し、周辺海域の生態系に深刻な被害をもたらしたほか、油田火災による煤煙が大気汚染を引き起こした。
問10	答え 1 棚田	地すべりによって生じた緩斜面は、粘土質の土壌や豊富な湧水を利用して棚田として利用される。地すべり地は水分が豊富で、傾斜が比較的緩やかになるため、山間部における貴重な耕作地となる。